

平成 25 年度

ナノ材料科学環境拠点 (GREEN) オープンラボ事業、研究計画公募実施要領

ナノ材料科学環境拠点 (GREEN) では、下記のような具体的課題において、環境エネルギー問題の解決につながる材料開発研究を加速・強化させる目的で、GREEN オープンラボ事業を行っています。

本事業では、新しい発展につながる研究成果創出のために、GREEN が取り組むべき研究課題の解決に結びつくアイデアを持ち込んでいただき、NIMS の保有する豊富な先端設備を短期間滞在して利用する研究者の提案を広く募ります。

大学等公的機関からは勿論、民間企業からの提案も歓迎します。特に民間企業からはこの事業を通じて、イノベーションに繋がる、より本格的な研究開発段階へステップアップするための具体的な提案を募集します。

また、NIMS および GREEN の幅広い分野の人材と交わり、新しく確かな材料情報に直に触れていただき、さらに自ら分野融合の新しい核となっただけことを強く期待しています。

下記要項にしたがって奮ってご応募下さい。

※注：なお、平成 25 年度は政府予算成立後に実施することになります。

ナノ材料科学環境拠点

Global Research Center for Environment and Energy based on Nanomaterials Science (GREEN)

文部科学省の「ナノテクノロジーを活用した環境技術開発」において NIMS を中核機関とする「ナノ材料科学環境拠点」が採択され、平成 21 年 10 月から活動を開始しています。「表面・界面現象の理解と制御」をキーワードとして、太陽電池、光触媒、二次電池、燃料電池等をターゲットに、表面・界面の理論解析と先端的計測技術を駆使して、環境エネルギー問題の解決に資する新材料創出のための基礎基盤研究を行っています。異分野融合と産学独の連携を促進し、我が国のナノテクノロジー・材料分野の高い研究ポテンシャルを結集して、世界的研究拠点の構築を目指しています。今回のオープンラボ事業も、異分野融合と人材結集の一環として行いますが、GREEN においては特に平成 25 年 4 月より「全固体リチウム二次電池」、「リチウム空気二次電池」に関する特別推進チームが始動し、これらの課題に寄与するオープンラボテーマについては今後優先的に採択する方針です。

記

1. 公募事項

GREEN 以外の研究機関に所属する研究者による、GREEN の取り組むべき研究課題の解決に結びつく研究計画を下記の要領で公募します。

1-1. 受入時の身分

採択された研究については、その研究者を「オープンラボ研究者」として GREEN にて受け入れ、必要な日数について、GREEN において研究を行っていただきます。

1-2. 受入担当者

オープンラボ研究者の活動については、研究テーマに関係のある GREEN 所属の研究者が受け

入れ担当者となり支援します。あらかじめ受け入れ担当者についての希望がある場合は、提案書にその旨をご記入ください。

1-3. 研究期間

平成 25 年度については、オープンラボ研究者の受入期間は、最長で平成 26 年 3 月 31 日までとします。継続申請が可能ですが、採否は年度ごとに審査によって決定します。また、同一研究を継続して実施できる年数は 2 年を限度とします。

この研究期間内に、複数回（各回 1 週間程度）、または一回（最長 1 カ月程度）、GREEN に滞在し実験を行っていただくことを想定しています。来所回数、滞在日数についての計画を、提案書にご記入下さい。実施に当たっては調整をお願いすることがあります。

1-4. 旅費、滞在費の支給

オープンラボ研究者には、原則として、GREEN までの交通費および日当、宿泊費を支給します。

1-5. 研究設備

GREEN が所有する研究設備、および NIMS の共用施設の使用が可能です。

- ・ NIMS の共用施設については、機構ホームページにてご覧いただけます。
- ・ GREEN の設備・機器については、受入担当者に直接お問い合わせ下さい。

上記の施設、設備にはマシンタイムの制約などがありますことをご了承ください。

2. 申請資格

オープンラボ研究者として申請をする提案者は、国内の国公立大学、公的研究機関および民間企業に所属している研究者、またはこれに準ずる研究者であると拠点長が認めた者としてとします。また、提案者が 42 歳以下（平成 26 年 4 月 1 日現在）の場合には、GREEN が毎年実施する拠点賞授賞の対象者として登録されます。

3. 申請方法

原則として、電子メールによる申請といたします。

1) 提出書類

- ・ オープンラボ研究提案書（別紙様式 1）
 - ・ 提案する研究と関連の深い、提案者の代表論文（10 件以内）を記載した論文リスト
 - ・ 提案内容を説明するポンチ絵（英語）（2 枚まで）
- ファイル形式はすべて PDF 形式でお願いいたします。

2) 提出先

メールの件名を【25 年度 GREEN オープンラボ研究応募】と明記し、GREEN@nims.go.jp へ提出願います。

3) 注意事項

- ・ 提案書の提出期限は、特に設けません。随時、受理するものとします。
- ・ 研究機関等に所属している方については、所属長の内諾を得た上で申請して下さい。（名誉教授等で、現在研究機関等に所属していない方を除く）。

4. 選考

採否については、GREEN オープンラボ研究審査委員会の議を経て、拠点長が決定します。

5. 採否の通知

直接提案者へお知らせします。

なお、採択決定次第、GREEN より「オープンラボ研究者の招聘条件通知書」を送付しますので、速やかに誓約書（別紙様式2）を提出して下さい。

6. 報告書の提出

オープンラボ研究者としての研究期間終了後 30 日以内に、A 4 版 1 ページの学会発表形式のレポートを提出願います。提出に際しては「GREEN オープンラボ研究成果報告書」（別紙様式 3）を添付して下さい。レポートの方は GREEN の成果報告書に掲載し、ホームページ等でも公開させていただく予定です。

また、各回の滞在期間毎に研究内容を毎回 GREEN に報告していただきます。

7. 学会発表・論文発表

オープンラボ研究者として行った研究で得られた成果の発表については、必ず事前に受入担当者とは相談して下さい。発表を行う場合は、受入担当者が事前に NIMS の定めに従って、「研究発表許可願」を NIMS に提出する必要があります。発表に際しては、所属として「GREEN」を併記し、文科省の委託事業である旨、謝辞として次のように要旨集や論文等に明記していただきます。

（和文）本研究は、GREEN オープンラボ研究として実施したものである。

（英文） This study was supported by and conducted at the Global Research Center for Environment and Energy based on Nanomaterials Science (GREEN).

8. 知的財産権の取り扱いについて

オープンラボ研究者として GREEN で行った研究により生じた成果の帰属、および知的財産権の取り扱いについては、原則、機構の帰属とします。

9. 宿泊施設

宿泊施設の紹介をご希望の方は、GREEN 運営総括室までご連絡下さい。

10. お問い合わせ先

GREEN 運営総括室（オープンラボ担当）

E-mail: GREEN@nims.go.jp URL: <http://www.nims.go.jp/GREEN/>

〒305-0044 茨城県つくば市並木 1-1 （独）物質・材料研究機構

Tel: 029-860-4953 Fax: 029-860-4981

11. 別紙様式

GREEN オープンラボ研究提案書（別紙様式1）

誓約書（別紙様式2）

GREEN オープンラボ研究報告書（別紙様式3）

以上

様式 1

平成 25 年度 GREEN オープンラボ研究提案書

新規	継続		
研究タイトル			
オープンラボ研究者（提案者）氏名			
所属機関		職名	
所属機関住所			
e-mail address		電話番号	
GREEN 受入担当者 （希望がある場合）	所属・氏名		
研究概要（GREEN の研究課題の解決にどのように寄与できるか具体的に記載、また GREEN 特別推進チーム [全固体リチウム二次電池、リチウム空気二次電池] に貢献するテーマについては、その旨明記のこと）			

研究目標（提案者保有のどのようなシーズやポテンシャルに対して、GREEN の機能をどのように活用し、何をどこまで明らかにしようとしているのかを具体的に記載）			

研究計画（オープンラボの枠組みにおける今年度の具体的研究計画と到達目標などを記載、前年度からの継続の場合は前年度までの到達点を必ず記入）

実施体制（本研究を実施する研究者、使用を希望する GREEN の装置・設備、来所回数、各回のおおよその滞在日数、および合計日数を記載）

誓約書

平成 年 月 日

独立行政法人
物質・材料研究機構 理事長 殿

客員研究者等（氏 名）

印

今般、貴機構で研究業務に従事するに当たり、下記事項を厳守いたします。

記

1. 貴機構のサービス及び管理規程等を遵守いたします。
2. 貴機構において得た知的財産権は、別に契約書等による定めがない限り、貴機構の帰属とします。また、その取扱いについては、貴機構の規程に従います。
3. 研究期間中はもとより研究期間終了後においても、貴機構の承諾なしに研究内容を第三者に対し漏洩いたしません。また、貴機構の承諾なしに研究成果をいかなる目的にも使用いたしません。
4. 別に契約書等による定めがない限り、研究期間終了後1年間以内に創出した知的財産権は、貴機構に無償で譲渡します。
5. 貴機構において得た研究成果等を公表するときは、貴機構の受入担当者に報告します。
6. 貴機構に属するいかなる文章、記録媒体、資料等も、貴機構の事前の書面による承諾なしに機構外に持ち出しません。
7. 故意であるか否かに関わらず、自らもしくは第三者の研究成果を貴機構内に持ち込んだことにより、又は、貴機構で得た研究成果を貴機構外に持ち出したことにより、結果として貴機構に損害を与えた場合には損害を賠償いたします。
8. 受入期間終了に際しては、貴機構から貸与を受けた図書、物品等は返却いたします。
9. 本人の故意又は過失により機器等に損傷を与えた場合は弁償いたします。
10. 本人の故意又は過失により発生した事故による負傷等に対する補償は請求いたしません。
11. 傷害保険に加入するなど補償等の措置を行います。

※客員研究者等の業務内容により、1. 以外の事項に当てはまらないものがある場合修正することも可能とする。
また、誓約書と同様の書類がある場合には、それに代えることも可能とする。

様式3

拠点マネージャー	運営総括室

GREEN オープンラボ研究者研究成果報告書

平成 年 月 日

独立行政法人 物質・材料研究機構
GREEN 拠点長 殿

GREEN オープンラボ研究者
氏名

印

貴機構での研究期間が終了しましたので、研究成果を報告いたします。

記

1. 受入担当者所属
2. 受入担当者氏名
3. 研究期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
4. 研究題目
5. 研究成果 別紙のとおり